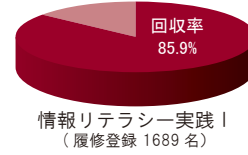
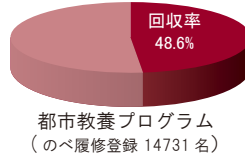
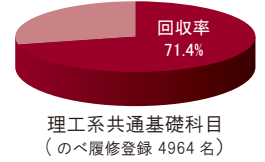
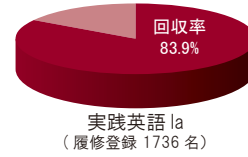
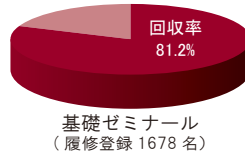


※結果の詳細はFD委員会ホームページに掲載しています。http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/

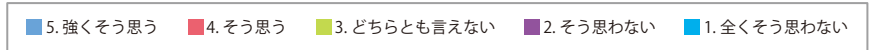
2011 年度前期の全学共通科目の授業評価アンケート集計結果をお知らせします。アンケートの対象者数と回収率は右の円グラフのとおりです。今回も多くの学生の皆さんに回答いただきました。

ご協力ありがとうございました!

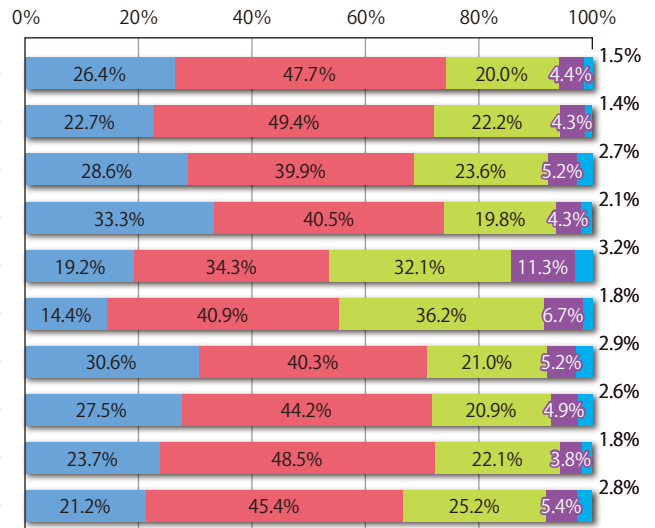


※ 調査結果は回答者個人が特定できないような形に処理した上で、FD 委員会の責任で集計・周知されるとともに、授業担当者にフィードバックされます。

基礎ゼミナール



- 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。
- 授業の目的を意識しながら学習することができた。
- 教員の説明はわかりやすかった。
- 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。
- 成績評価方法について十分な説明があった。
- シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。
- 私はこの授業を受講して満足した。
- 授業のテーマに対する関心が高まった。
- 問題発見とその解決に向けた取り組み姿勢の重要性を認識した。
- 議論や発表などの自己表現能力を向上させることができた。



【授業時間以外で一週間に平均どのくらい、この授業に関連した学習をしましたか?】

2時間以上: 8.2%、90分程度: 9.5%、1時間程度: 22.7%、30分程度: 27.9%、ほぼ0時間: 31.6%

【受講生による議論・調査・発表の部分に対し、教員によるテーマの解説部分の時間配分はどうか?】

多かった: 4.0%、やや多かった: 10.1%、ちょうどよかった: 68.7%、やや少なかった: 13.4%、少なかった: 3.8%

【この基礎ゼミの授業は第何希望でしたか?】

1回目抽選の第1希望: 54.0%、1回目第1以外: 28.5%、2回目第1希望: 7.7%、2回目第1以外: 5.8%、それ以外: 4.0%

こんな意見が多くありました

- グループワークやディスカッションの時間をもう少し増やしてほしい。
- 学生主体の授業ではあるが、先生のアドバイスがもっとほしかった。
- 資料の検索方法やプレゼンの仕方など基本的なことが学べてよかった。
- 1つの課題にグループで取り組むことができた点がよかった。

授業担当者から

- 1クラスの人数が多すぎた。
- 学生の熱意や興味に大きな差があり、授業の運営に苦労した。
- 学生同士の自主的な議論を促した。
- 学生に毎回コメントを出させ、翌週全員に配布した。

【担当部会からのコメント】受講生は、基礎ゼミナール特有の、学生主体の授業形態を楽しんでくれているようです。反面、もっと先生の解説が聞きたかったという意見も多く、ゼミ中の時間配分について、改善の余地がありそうです。

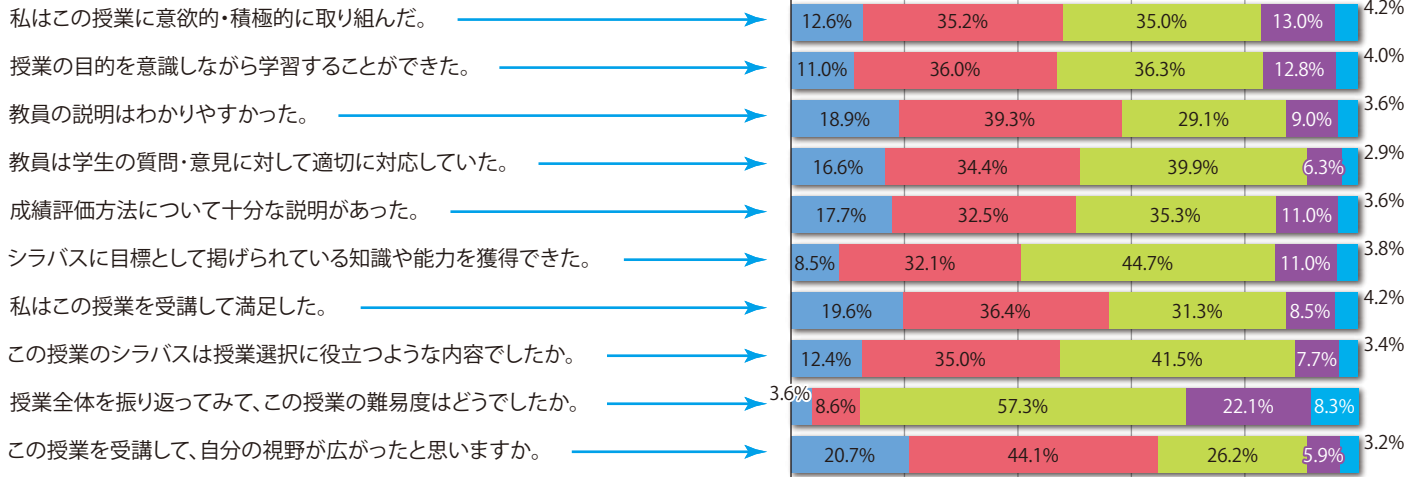
FD (ファカルティ・ディベロップメント) とは

起源は、米国にあり、「大学の自己評価機能の開発、個人と組織の教育機能の開発、教員人事機能の適正化の実現、管理運営機能の開発」を含んだ大きな概念とされています。日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」と定義されています。



都市教養プログラム

■ 5. 強くそう思う ■ 4. そう思う ■ 3. どちらとも言えない ■ 2. そう思わない ■ 1. 全くそう思わない
【難易度のみ】 ■ 5. 易しかった ■ 4. やや易しかった ■ 3. ちょうどよかった ■ 2. やや難しかった ■ 1. 難しかった



【授業時間以外で一週間に平均どのくらい、この授業に関連した学習をしましたか？】

2時間以上：2.8%、90分程度：3.7%、1時間程度：13.3%、30分程度：21.5%、ほぼ0時間：58.7%

【授業の内容や形態を考えると、このクラスの人数はどうであったと思いますか？】

多かった：16.8%、やや多かった：23.6%、ちょうどよかった：55.9%、やや少なかった：3.0%、少なかった：0.8%

こんな意見が多くありました

- 成績評価についての説明をもっと詳しくしてほしい。
- 一方通行の授業ではなく、もっとディスカッションの場がほしい。
- 適度に演習が組み込まれてよかった。
- 自らの視野が広がるような授業でよかった。

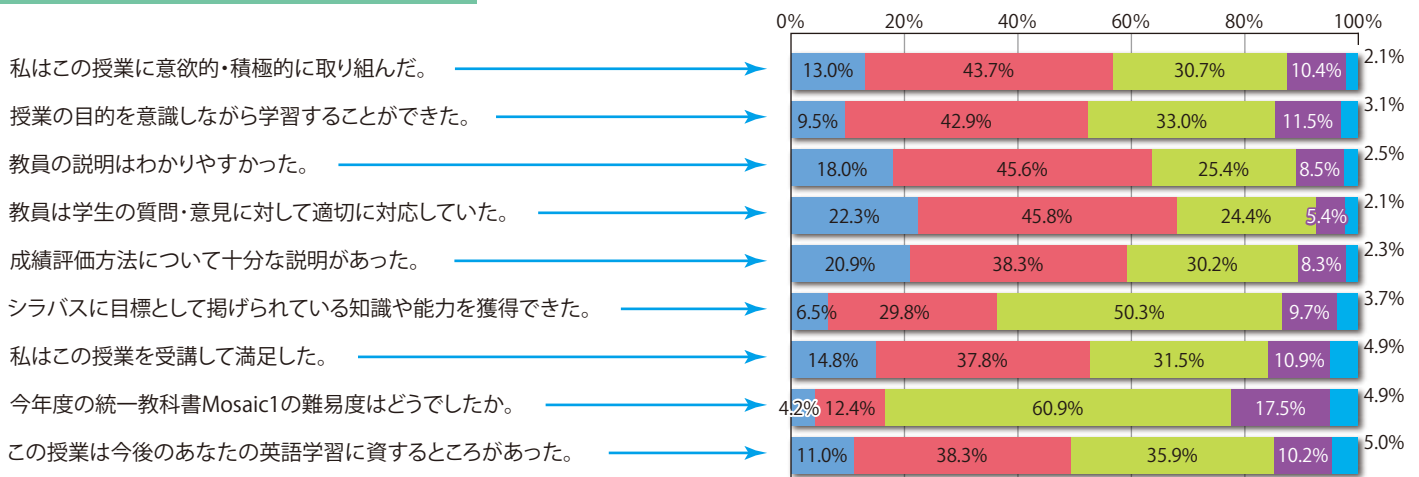
授業担当者から

- 受講人数が多すぎる。
- 学生の積極的な発言がほしい。
- グループワークを取り入れ、主体的に学ばせた。
- 授業目標を明確にし、シラバスに盛り込んだことを徹底した。

【担当部会からのコメント】 授業が易しいという割合が少ないのに視野が広がったという答えが多く、学生・教員双方の授業に取り組む努力の跡がうかがえます。受講者が多い中でそれぞれのニーズに応えられる余地の検討に努めていきます。

実践英語 Ia

■ 5. 強くそう思う ■ 4. そう思う ■ 3. どちらとも言えない ■ 2. そう思わない ■ 1. 全くそう思わない
【難易度のみ】 ■ 5. 易しかった ■ 4. やや易しかった ■ 3. ちょうどよかった ■ 2. やや難しかった ■ 1. 難しかった



【授業時間以外で一週間に平均どのくらい、この授業に関連した学習をしましたか？】

2時間以上：5.6%、90分程度：10.4%、1時間程度：26.7%、30分程度：36.6%、ほぼ0時間：20.7%

【Mosaic 1 による授業の中で、いちばん関心をもって取り組むことができたのは何ですか？】

発音練習：3.3%、語彙の学習：12.1%、構文理解：14.9%、英文和訳：27.7%、内容理解：42.1%

こんな意見が多くありました

- 高校の授業よりレベルが低いように感じる。
- 授業の進度が速くてついていけない。/ 進度が遅い。
- TOEIC や TOEFL など、他の試験も受けてみたい。
- 教科書だけでなく、DVD などを使って生の英語に触れさせてくれた。
- ディクテーションを頻繁に取り入れてくれたのは良かった。

授業担当者から

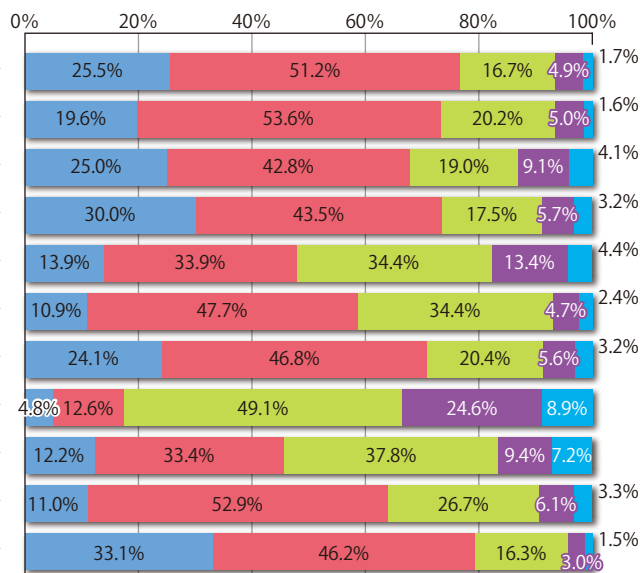
- 年々、学生からの質問が減っているのが残念。
- 混合クラスになり学生同士が助けあうなどクラスの雰囲気は良くなった。
- グループワークを取り入れ、プレゼンテーションを行った。
- レポート課題を与えることにより、学生の疑問点をチェックした。

【担当部会からのコメント】 今年はクラス編成テストによるクラス分けを行っていませんので、その良い面と悪い面があらわれたようです。すでに各教員に「悪い面」については対処を、「良い面」については継続をお願いしています。

情報リテラシー実践 I

■ 5. 強くそう思う ■ 4. そう思う ■ 3. どちらとも言えない ■ 2. そう思わない ■ 1. 全くそう思わない
【難易度のみ】 ■ 5. 易しかった ■ 4. やや易しかった ■ 3. ちょうどよかった ■ 2. やや難しかった ■ 1. 難しかった

私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。
 授業の目的を意識しながら学習することができた。
 教員の説明はわかりやすかった。
 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。
 成績評価方法について十分な説明があった。
 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。
 私はこの授業を受講して満足した。
 授業全体を振り返ってみて、この授業の難易度はどうでしたか。
 教材等の使用が授業の理解に役立った。
 授業全体を通して、情報リテラシーが身についた。
 チューターは学生の質問・意見に対して適切に対応していた。



【授業時間以外で一週間に平均どのくらい、この授業に関連した学習をしましたか？】

2時間以上：3.2%、90分程度：3.9%、1時間程度：10.8%、30分程度：21.5%、ほぼ0時間：60.7%

こんな意見が多くありました

- 学生のレベル別のクラス編成にしてほしい。
- タイピングが遅い人への配慮や対策がほしかった。
- 自宅で Blackboard から授業の予習・復習ができるのがよい。
- チューターがきめ細やかな対応をしてくれ、安心して受講できた。

授業担当者から

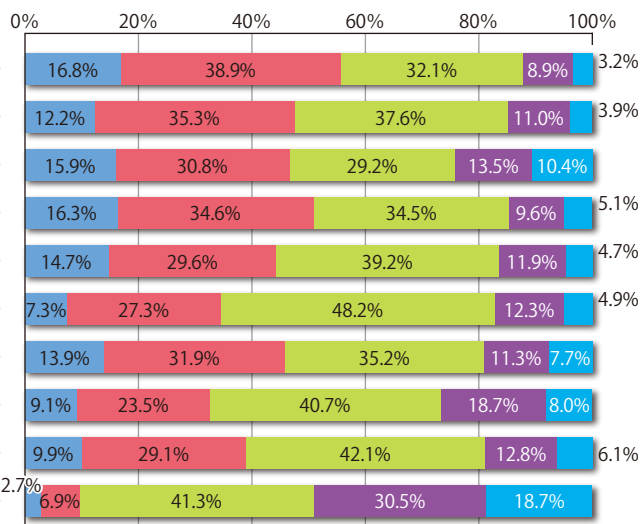
- 学生の PC スキルに合わせて授業の進捗や難易度を調整する必要がある。
- チューターが少なすぎる。
- 講義で得られる情報処理の技能を実生活でも活用できるように指導した。
- 学生が興味を持てるような課題を出すように工夫した。

【担当部会からのコメント】情報リテラシーは、授業で学んだことを実践することで更に向上します。上の結果からは授業時間外学習が不足していることが分かりますが、今後、大学に限らず様々な場面で、コンピュータを活用した問題解決などに取り組むようにしてください。

理工系共通基礎科目

■ 5. 強くそう思う ■ 4. そう思う ■ 3. どちらとも言えない ■ 2. そう思わない ■ 1. 全くそう思わない
【難易度のみ】 ■ 5. 易しかった ■ 4. やや易しかった ■ 3. ちょうどよかった ■ 2. やや難しかった ■ 1. 難しかった

私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。
 授業の目的を意識しながら学習することができた。
 教員の説明はわかりやすかった。
 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。
 成績評価方法について十分な説明があった。
 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。
 私はこの授業を受講して満足した。
 快適な環境下で授業を受けることができた。
 この授業のテーマは自分の関心に合っていた。
 授業全体を振り返ってみて、この授業の難易度はどうでしたか？



【授業時間以外で一週間に平均どのくらい、この授業に関連した学習をしましたか？】

2時間以上：4.3%、90分程度：7.7%、1時間程度：26.7%、30分程度：32.3%、ほぼ0時間29.1%

【授業の内容や形態を考えると、このクラスの人数はどうであったと思いますか？】

多かった：7.7%、やや多かった：26.3%、ちょうどよかった：62.7%、やや少なかった：2.3%、少なかった：0.9%

こんな意見が多くありました

- 計画的に授業を進めてほしい。
- 教科書の丸写しのような板書はやめてほしい。
- 毎回の小テストが復習にもなり、役に立った。
- 宿題や課題があり、学習する意欲がわき、力もついた。

授業担当者から

- 学生の基礎学力・意欲・興味のバラつきが大きくなってきている。
- 教室の広さや黒板の大きさなどを改善してほしい。
- 講義資料や自習資料を Web で提供した。
- 毎回の学生からのコメントを基に、授業のやり方を修正していった。

【担当部会からのコメント】理工系共通基礎科目の理解には、地道な学習が必須なのですが、昨年度前期・後期に引き続いて学習時間が前年度をわずかながら下回ってしまい、深刻に受け止めています。

授業評価アンケートで皆さんに書いていただいていた自由記述は、授業改善にどのように役立っているのでしょうか。自由記述は、授業改善の目的に沿わない部分は削除されますが、それ以外はそのまま担当教員に返却されます。担当教員は、学生一人一人の意見に目を通すわけです。

教員にとって、自由記述の内容は結構気になるものです。「説明がわかりやすい」「授業内容が濃かった」などの意見は素直にうれいし、「計算ミスがなくしてほしい」「板書の字がだんだん小さくなった」などには落ち込むこともあり、来年度に向けての反省材料になります。また、ある授業方針に対して賛否両論があると、来年度の授業をどう進行するか、考えさせられたりもします。

もっとも、教員は学生からの評判が良い授業を目指しているかという、必ずしもそうではありません。例えば、「授業が難しすぎる」という意見に対しては、講義内容を簡単にすれば授業の評価は上がるかもしれません。しかし、安易に内容を簡単にするのではなく、説明の仕方を工夫したり、学生自身に考えさせる機会を提供するなどして、難しいことを理解する喜びを感じてほしい。つまり、教員は人気のある授業ではなく、学生の理解や考える力を伸ばすことができる授業を目指しているのです。

このような意味でも、学生の皆さんの自由記述、特に具体的な意見は授業の改善に大変役立っています。しかし、皆さんからはこのことがなかなか目に見えないのも現状です。私は、前年度の授業の自由記述内容をすべて翌年の初回の授業で紹介し、これをもとに前年度の授業をどのように改善するかを説明するようにしています。他にもいろいろな方法があると思いますが、受講者の能力を伸ばす授業になるように、学生と教員がもっともっとコミュニケーションを図っていくことができればと考えています。

FD 委員会委員長 山下 英明（大学教育センター長）

授業評価アンケートによって、さまざまな教育改善がなされています！！

《基礎ゼミナール》

- 👉 学生の専門に応じた自由な取り組みをさせた
- 👉 グループ以外の人と交流する時間をなるべく多くとるようにした

《都市教養プログラム》

- 👉 配布プリントやパワーポイントに工夫をし、見やすくした
- 👉 出席の確認方法を改めた
- 👉 シラバスを見直した

《実践英語 I a》

- 👉 学生の反応を見ながら授業を進めるようにした
- 👉 授業の進度が速いという指摘を受けて、丁寧に解説するようにした

《情報リテラシー実践 I》

- 👉 課題を早めに提示して、目標を明確にするようにした

《理工系共通基礎科目》

- 👉 板書の文字を大きくした
- 👉 テキストをやさしい内容のものに変えた
- 👉 演習問題を増やした



《編集を終えて》

『別冊クロスロード』の第5号をお届けします。学生の皆さんに注目してほしいのが、本ページ上段の質問項目解説シリーズ「自由記述」です。他の質問項目とは異なり、自由記述回答だけは、匿名処理の後、個々人の「意見・感想・考え方など」がほぼダイレクトに各教員に通知されます。また、教員側にとっても、授業改善への大きな原動力となっているのが、皆さんからの自由記述回答です。

授業ごとにアンケートがあるので、アンケート記入についてマンネリになってしまいがちです。また、アンケート結果は次年度の講義に生かされるので、アンケート記入者への直接的な恩恵はありません。しかしながら、皆さんが次年度に受ける予定・希望の講義は、今年度以前に皆さんの先輩などが回答したアンケート結果をベースに改善がなされます。アンケート記入時（とくに自由記述記入時）に、これらのことを思い出してもらえればと願っています。

FD 委員会広報部長 岡本 龍史（都市教養学部理工学系生命科学コース准教授）